

タ刊バナスト

Tabloid Banesto 06 2022/02/04

タ刊バナスト 06 :2022/02/04

文章・編集:ゲームストア・バナスト 中野将之

前書き:

まずは時間があるときにお読みくださいませ。

ゲームマーケット大阪も中止になるレベルでオミクロン株がえらいことになっておりますが、皆さんが健康で楽しくゲームを遊んでいただけることを願ってやみません。

東京のゲームマーケットが無事に開催されることを期待しております。

ゲームストア・バナスト 中野将之

ゲームストア・バナスト


462-0058 名古屋市北区西志賀町4-15

Tel/fax:052-910-0025

<https://banesto.nagoya>

e-mail:postal@banesto.nagoya



 Youtubeはこちら
検索で“バナスト电视台”
バナスト电视台のQRコード>>>



 Instagramはこちら
[instagram.com/gamestore_banesto](https://www.instagram.com/gamestore_banesto)
InstagramのQRコード>>>



 Twitterはこちら
<https://twitter.com/banestolive>
TwitterのQRコード>>>



ゲーム紹介: ワイルドスペース 4400円

1-5人 / 8歳以上 / 30分



「ワイルドスペース」は、新しい銀河に対して、秘境を探索してクルーを増やします。スペシャリストやロボットを展開して、ミッションを達成させてクレジットを獲得する拡大再生産系のゲームです。

このゲームは、カードを効率よく組み合わせるという戦術的なカードゲームです。新しいカードを組み合わせに加えることで、クルーを強化し、クレジットを獲得し、さらなるコンボの準備していくカードゲームです。

プレイヤーは、毎ターンにてアクション選択することで、自分のクルーに新しいカードを加える、または新しいカードを引くという、いずれかが用意されます。カードをプレイして、クルーがその条件を満たしたらその能力が発動します。

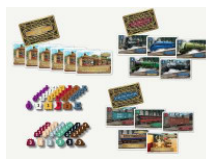
新しいカードをプレイすることで、強力な能力を獲得し、さらに将来の能力を発動させるための条件を満たすこともできます。これらを活用して能力の効果や勝利につながるクレジットを獲得できるようになります。

効率的にコンボを発動させ、一度に複数のカードをプレイするには、行動計画を立てることが重要です。



ゲーム紹介: ステーションマスター 4400円

2-6人 / 10歳以上 / 30-60分



「ステーションマスター」は、駅長となり、列車に乗客や客車を割り当てて、ポイントを得ていくゲームです。

夜明けとともに、今日も駅が賑わう。慌ただしく電車を探す乗客たち。その裏側では、エンジニアや作業員たちが、客車とエンジンをつなぐために奔走している。もし有能な駅長がいなかったら、大変なことになっていたかもしれません。あなたは有能な駅長になれるのでしょうか？乗客のニーズと客車のバランスをとることができるでしょうか？

このゲームでは、乗客を適切な列車に誘導し、客車を最適な場所に配置することを相手と競わなければなりません。駅では予期せぬことがたくさん起こります。

プレイヤーは乗客や客車の配置によって出発する列車の価値を左右し、列車を定刻に出発させ、最も多くのポイントを獲得しようとします。

毎ターン、あなたは乗客のコマを列車に乗せたり、手札からカードを使用することで駅でのタスクを管理します。

列車の準備が完了したら、列車は駅を出発します。

プレイヤーは列車の価値にその列車に乗っている乗客の価値をかけた数の効率点を獲得します。

最後の列車が駅を出発したときに、一番多くの効率点を獲得しているプレイヤーの勝利となります。



ゲーム紹介: 1号線で行こう 4400円

2-5人 / 10歳以上 / 40分



「1号線で行こう」は途中停車駅を考慮しつつ市電を走らせていくゲームです。

ゲームは2段階に別れていて、第1段階は線路敷設ゲーム、第2段階は市電レースゲームです。

プレイヤーには5枚の線路タイルと運行計画表が渡されます。

最終的に他プレイヤーには秘密の運行計画表にある途中停車駅を経由して終点にたどり着くことが目標となり、第1段階ではその為にも自分に有利な線路敷設が必要です。

第1段階において各プレイヤーは2枚までの線路タイルを敷設できますが、街に隣接する場所に最初に線路タイルを置いた時は、同時に停留所が決まります。

また既に敷設されている線路タイルに対して新たに分岐を設ける場合、タイルの置き換えも可能です。

途中の停車駅を経由出来る運行計画が整ったら、第2段階に移行し、計画を公表して実際に市電を走らせます。

ダイヤ目の通り線路に沿って走らせますが、Hマークは次の停留所まで走っていきます。こうしてより早く終点にたどり着いた市電のプレイヤーが勝者です。



ゲーム紹介: ワームアップ 2500円

3-5人 / 8歳以上 / 20-30分



「ワームアップ」は、テーブルがそのままボードとなる、ミズたちの競争です。

スタート地点にはオハジキ7つで構成されているコマが用意されます。適当に離れた距離にゴールを配置します。ゴール板を2つの支柱で渡します。

各ラウンド進みたい数字を提示しますが、他のプレイヤーも同じ数字がど進めません。かぶらなかった小さい数字から、ミズコマを1つずつ後ろから前へ(もしくはその逆)で動かしていきます。ゴールを動かすXという選択もあり、1番最後に使われていない数字を選択し、ゴール板を回転することが出来ます。

何らかの形でゴール板にオハジキの列が接触した時点で、ゴール板に接触したプレイヤーの勝ちです。

このゲームはボードの無いボードゲームで、バッティングなどの要素があるので、相手かどのようになりたいかを読むゲームです。

ミズ同士が絡み合うような邪魔のしあいもあったりします。オハジキの列がイモムシを連想させます。



ばねこみつく: #07 ヒューゴ

監修: ごーちんさん 漫画: はなみろかさん

毎月更新、その他のマンガは以下の場所にあります。

ヒューゴ



ヒューゴ おばけと鬼ごっこ

おばけのヒューゴに捕まらないうちに駒を逃げ隠れさせるゲームです。サイコロを振り、自分の駒がヒューゴを動かし、捕まったり、部屋に隠れたりして会場に誰もいなくなったら終了。合計得点の高い人が勝ち！



ばねこみつく、バックナンバーはこちら